

消化器外科

I 経験、習得すべき事項

まず消化器疾患や乳腺を中心に、minor surgery として外来手術が必要なその他の患者の症状・所見を経験し、これらの検査結果から適切な診断や治療方法を判断できる。さらに救急疾患を的確に診断し、そのプライマリーケアが適切にできる。また患者・家族と良好なコミュニケーションを醸成できる。

(1) 頻度の高い疾患

胃疾患（胃癌、胃十二指腸潰瘍）	腸疾患(大腸癌、急性虫垂炎、イレウス)	乳癌	胆石症
肛門疾患（痔核、痔瘻）	ヘルニア	胆道・膵腫瘍	肝臓癌

(2) 緊急を要する症状・病態

吐血	下血	急性腹症	イレウス
----	----	------	------

(3) 経験が求められる疾患・病態

一般消化器疾患の診断・治療と同時にターミナル・ケアにも対応できる。

II 当診療科における研修の特徴

多種類の一般外科疾患を経験し、基本的な知識や手技の習得を目標にしている。同時に社会常識やマナーの習得にも心掛ける。